

原発連事務局FAX通信 第995号 2020年6月23日
原発問題全道連絡会 事務局発行 Fax:011-815-4545 又は011-3721-2127

明後日の北電株主総会会場前宣伝行動にご協力を

—今年も、「脱原発をめざす北電株主の会」と共同で実施します—

◇日時 6月25日(木)午前8時45分～10時

◇場所 中央区大通西8丁目 札幌ビューホテル大通公園前

◇主な行動 音宣伝、泊原発やめようチラシ・原発ゼロ基本法実現リーフ配布など

—雨天決行で北電株主総会会場前宣伝行動を実施します。ぜひご参加をお願いします—

今年も、新型コロナウイルスの感染が終息しない中の株主総会で、会場への参加者は少ないようですが、今年も共同で宣伝します。

今総会の議案は、会社提案が3件（剰余金処分＝普通株式1株5円、総額10億2761万円の配当、B種優先株式1株150万円、総額7億500百万円の配当の実施）、取締役12名選任、監査役3名選任です。北電の経営方針に変わりはありません。

一方、脱原発をめざす株主の会は、9議案を提案します。原子力事業からの撤退、再生可能エネルギー受入れ容量の拡大・送電網の開放、役割の不透明な有償の相談役・顧問の廃止、取締役などの報酬の個別開示などで、いずれも道民の賛同が得られるものです。

北電は昨年度の決算で、泊原発停止中でも電気は不足せず安定供給できています。しかし、新電力への契約切り替えで毎月約1万件も契約減少が続く一方、電力量の売り上げ減の一方、人件費削減、減価償却方式の見直しなどで経営費を圧縮し、前年度に続き増益（当期単独純利益239億円、前年度比18%増）を確保しています。しかし増益は2013年度と14年度の2年連続の電気料金の大幅値上げによるもので、増益ならまず電気料金を値下げすべきです。

また、北電は、2030年度に向けて経常利益を450億円規模に倍加をめざす「北電グループ共同経営ビジョン2030」を策定し、泊原発の早期再稼働に総力をあげつつ、事業領域の拡大などで儲け口を広げ、増益目標を達成しようとしています。しかし、電気料金の引き下げは、泊原発の再稼働後に実施というもので再稼働が見通せない現状では棚上げ同然です。

他方、今年度から、送配電事業部門が北電ネットワーク株が担いますが、その株式は北電が100%保有して親会社となり、一体となって電力の安定供給に責任を果たす方針をかかげています。しかし、こんな子会社化で、果たして送配電事業の中立性や公平性が担保されるのか、道民監視が欠かせない重要な総会です。

2020年6月のチェルノブイリデーにもご協力をお願いします

6・26原発ゼロ昼休宣伝行動

◇日時 2020年6月26日(金)12時15分～45分

◇場所 JR札幌駅北口駅前広場(西側)

◇主な行動 リレートークと泊原発シール投票、
原発ゼロ基本法リーフ配布など。